



9月いすぐみだより



9月に入り暦の上では秋となりましたが、まだまだ暑い日が続きそうですね。毎日元気いっぱいな姿で登園してくる子どもたちを見て、パワーをもらっています。

最近のお食事の様子を見ていると、以前よりも“自分で食べたい”という気持ちが表れ、スプーンをしっかりと持ち、食べ物を上手にすくって口に運ぶ姿が多く見られるようになり、成長を感じています。中には、手づかみで食べる子や、“今日は手で食べたい”と意思表示をする時もありますが、それも大切な発達の一環です。自分の手で食べ物に触れ、感触を確かめながら食べることで、手先の発達や、食べることへの興味が育まれていきます。そうは言ってもまだ“食べさせてほしい”という時もあるので、『食べることが楽しい!!』という思いを大切にしながら、一人ひとりのペースに合わせて丁寧に援助をしていきたいと思います。



9月の目標

◎夏の疲れに留意し、生活リズムを整えて快適に過ごす。

→ご家庭と連携をとりながら一人ひとりの体調をしっかりと把握し、個々の体調を考慮しながらリズムを整えていきます。

◎保育士や友だちと一緒に遊ぶ中で、自分の気持ちを表そうとする。

→友だちを意識した関わりが増えてくる時期でもあるので、子どもたち同士で遊びを一緒に楽しむ姿を見守っていきます。

＼ドキドキわくわく!! 感触遊び／

つめたーい!

氷遊びでは、丸型の氷をタライに出してみると“ゴロゴロ～!”とかき混ぜてみたり、カップに入れてアイスに見立てたりと、思い思いに氷と向き合う姿がありました。



うみだー☆



魚、カニ、クラゲ、ヒトデなどの海の生き物を作った後、大きな模造紙に、皆で一斉に手形や足型をつけたり、筆で書いたりして海を作りました。乾いた後は好きな場所に生き物たちを泳がせ、気持ちよさそうに泳ぐ姿をじっくりと眺める子どもたちでした。

～感触遊びについて～

8月は、夏ならではの制作や感触遊び(水、氷、寒天、色水など)を行い、子どもたちにとって沢山の驚きや発見があったと思います。9月も暑い日は引き続き感触遊びを楽しみたいと思っています!

この時期の子どもたちは、手や指先を通して「触る・握る・こねる・つまむ」などといった動作を通じて感覚や運動機能を発達させていきます。また「冷たい」「やわらかい」「ぬるぬる」などの新しい感覚との出会いは、脳の発達にも繋がっていきます。子どもたちの遊びに、正解というものはありません。感触遊びも同じですね。触ることを楽しむ子もいれば、見ているだけで満足する子もいます。それぞれのペースを大切にしながら、安心出来る環境の中で新しい素材との出会いを楽しむと共に、子どもたちの“はじめての一步”を見逃さず、今後も子どもたちの興味や関心をもとに、様々な経験を一緒にしていきたいと思っています。